

「プレスネット」(vol.886)
平成 29 年 12 月 14 日掲載



金田 晋
(美学者)

私たちが使う暦は太陽暦(グレゴリオ暦、新暦)です。その前日まで使われていた天保暦(旧暦)明治五年十二月三日を明治6(1872)年1月1日とする(元)で、明治国家はアジアでいち早く

旧暦で、月の情景を取り戻そう

忠臣蔵の仇討ち、一時間の闇の中で

西洋の仲間入りしました。改暦の利点があります。情報、通信、交通、経済活動など、同じ暦で世界と交際できます。その反面、生活や年中行事、農や漁業では不便です。月(太陰)が除外されるからです。文化はなお

西暦の仲間入りしました。改暦の利点があります。情報、通信、交通、経済活動など、同じ暦で世界と交際できます。その反面、生活や年中行事、農や漁業では不便です。月(太陰)が除外されるからです。文化はなお

件は元禄十五年十二月十四日(旧暦)に起きました。十四日は小望月、夜中江戸の町は月光にこころうと照らされていきました。討ち入りは寅の上刻、午前4時。月の入りは朝5時18分、まだ月は出ていました。日の出は6時

岳寺で催されています。またその日、赤穂浪士を主題にする映画やドラマがテレビ等で放映されます。でも新暦では月は除外されます。だからこの事件はイメージできません。ちなみに、旧暦十二月十四日は新暦では今

さうです。韓国や中国では太陰太陽暦をも農暦とよんで使っています。賢いと思

42分、市民の薄明開始は6時17分です。月が沈み、日が出ない闇の1時間足らずの間、朝6時過ぎに吉良の首をとって無念を晴らしたので

浅野内匠頭が殿中松之太廊下で吉良上野介を刃傷したのは前年の元禄十四年三月十四日、だから十四日という月命日に間に合わない

赤穂浪士の吉良邸討ち入りで見てください。この事

赤穂義士祭は、今日12月14日(新暦)に東京の高輪泉

47人が真夜中、月明かりの町を二団となって進んだとは考えられません。すぐに見つかって通報されてしまいます。大石内蔵助ら数人は、火の用心の見回りとして町火消しの装束を着込んで吉良邸に向かったのです。寒い夜、町民は、戸を閉めて夜具の中にならざる

かっただけではないか。いえいえ、旧暦では次の日が明けて一日が改まります。だから朝6時は十四日中です。

広島大学マスタースは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っています。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp (渡部)